

第18回 全国街路事業 コンクール応募資料

平成18年3月

応募者名: 愛媛県 土木部 道路都市局 都市整備課

事業の名称: 松山広域都市計画道路

東一万道後線整備事業

実施都市名: 松山市

事業の目的

松山広域都市計画道路「東一万道後線」は、県都松山市の中心部から、日本有数の温泉地である道後温泉を結ぶ、延長L = 約1.1kmの路面電車軌道をもつ4車線の幹線街路である。

これまで、道後温泉地域から中心市街地の区間は、歩道のない片側1車線道路であったことに加えて、電車軌道敷内を自動車通行可能区間にしてきたことから、自動車と電車が交錯し、慢性的な交通渋滞を起こしていた。さらに、この街路沿線には、県民文化会館、社会福祉施設のほか、道後公園(国史跡の湯築城跡)といった集客施設があることから、車椅子や自転車、歩行者等の交通弱者の安全確保も課題であった。

このため、新たに電車停留所を設けて路面電車の良好な走行空間を確保したうえで車道を4車線化し交通渋滞の緩和を図るとともに、車道の両側には自転車歩行者道を設け、愛媛の観光拠点である道後温泉の玄関口にふさわしい街路整備を図ったものである。

また、この街路は、近年関心の高まっている東南海・南海地震等の災害時の緊急輸送道路や避難路として、地域に密着した基幹道路の機能も有するものとなっている。

事業概要 (1)

事業名: 松山広域都市計画道路
東一万道後線整備事業

路線名: 東一万道後線

事業箇所: 松山市東一万町
~ 松山市道後町一丁目

事業延長: 約 1.1 km

幅員: 30 m (4車線)

総事業費: 127億円

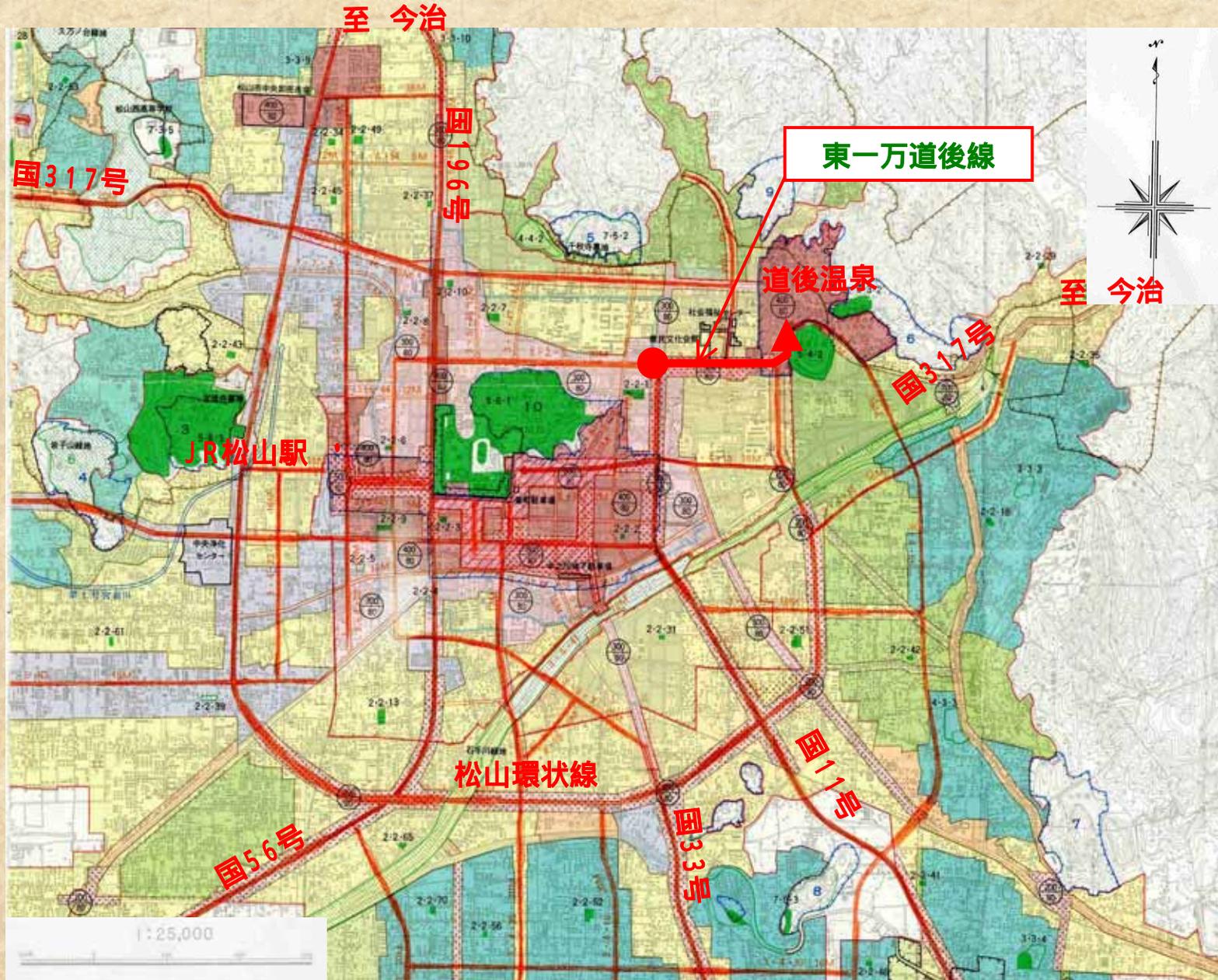
事業期間: 昭和58年度 ~ 平成16年度

事業概要 (2)

本事業は、松山市中心部と道後温泉地域間L = 約1.1kmを整備したものである。

車道については4車化を行い、新たに路面電車停留所を設け、路面電車の良好な走行空間を確保した。また、沿線には県民文化会館、社会福祉施設のほか、道後公園(国史跡の湯築城跡といった集客施設があることから、自転車歩行者道及び電停のバリアフリー化を図るとともに、周辺景観に配慮し、植樹帯には高木はクスノキ、クロガネモチ、低木はカンツバキ、アベリア等の植樹を施した。

事業位置図



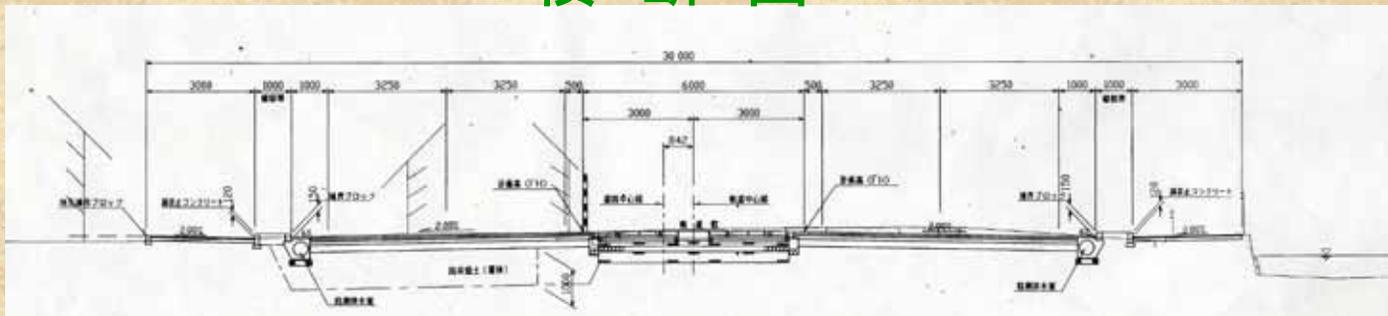
全体図(平面図・横断図)

平面図

事業延長L = 約1.1 km



横断図



東一万道後線の整備効果アピール資料

事業概要

事業名: 松山広域都市計画道路
東一万道後線整備事業

路線名: 東一万道後線

事業箇所: 松山市東一万町
～ 松山市道後町一丁目

事業延長: 1.1km

幅員: 30m(4車線)

総事業費: 127億円

事業期間: 昭和58年度～平成16年度

交通量調査結果

供用前平成16年9月16日

供用後平成17年2月22日

【自動車】

交通量 12,104台/12h 12,924台/12h

旅行速度 16.8km/h 28.1km/h

【自転車・歩行者】()は内自転車交通量

1,697人/12h 2,292人/12h

(1,060台/12h) (1,210人/12h)



整備効果

- ・ 旅行速度の向上(上り)
17km/h(事前) 28km/h(事後)
- ・ 朝ピーク時の最大渋滞長の変化
200m(事前) 0m(事後)
- ・ 歩行者交通量の変化
1,700人/12h(事前) 2,300人/12h(事後)
- ・ バリアフリー、景観への配慮
- ・ 沿道建物の建て替え等による街並みの一新
- ・ 路面電車の走行性の向上(坊ちゃん列車の復元)



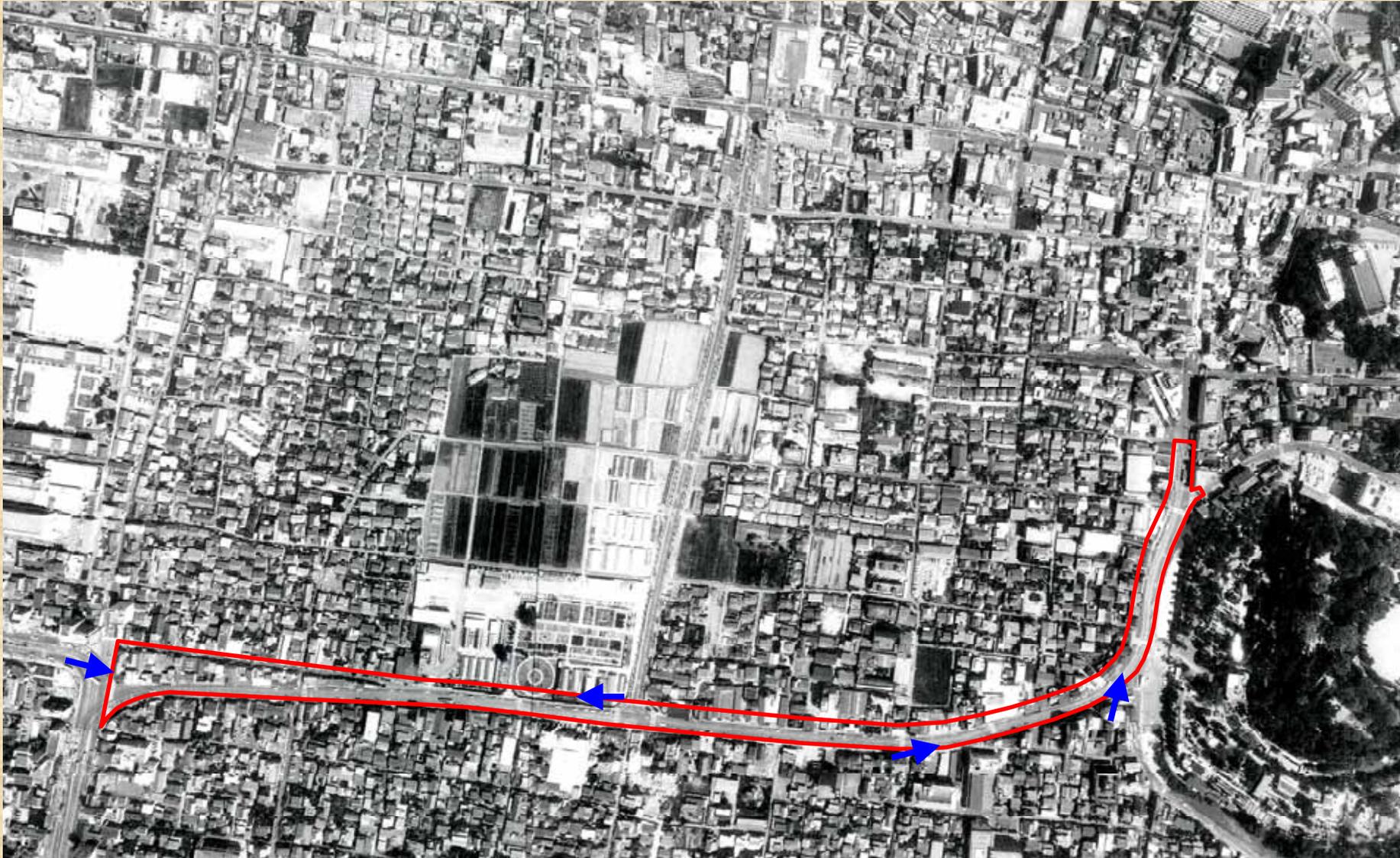
事業前S55.4

事業後H18.3



事業前写真

昭和55年4月撮影



事業後写真(1)

平成18年3月撮影



道後温泉

道後公園
(湯築城跡)

事業後写真(2)

平成18年3月撮影



事業後写真(3)

平成18年3月撮影

